



KKR、アジア・ファンド 4 号を 150 億ドル(約 1.65 兆円)でクローズ

【香港 2021 年 4 月 6 日】世界有数の資産運用会社である KKR は本日、アジア太平洋 (APAC) 地域におけるプライベートエクイティ投資に注力する KKR アジア・ファンド 4 号(以下、「アジア 4 号ファンド」、「4 号ファンド」、「当ファンド」)を 150 億ドル(約 1.65 兆円)でクローズしましたので、お知らせいたします。当ファンド投資家とともに KKR は約 13 億ドルの自社および従業員コミットメントを通じ投資します。

KKR アジア太平洋地域代表のミン・ルーは次のようにコメントしています。「APAC 地域には大きな成長力とダイナミズムを背景に世界で最も確実な投資機会のいくつかが存在しているとみており、KKR はこれまで 16 年間にわたり同地域において確固たる事業基盤とダイバーシティあるチームを戦略的に構築してきました。当社のマルチアセット・プラットフォームにプライベートエクイティ投資の旗艦ファンドが加わり、APAC 地域における当社の投資能力は一段と高まりました。同地域における当社の投資戦略と実績を評価いただき、また、様々なビジネスに大きな潜在成長力があることを認識して今回のファンドに参画いただいた投資家に感謝したいと思います。」

KKR は APAC 地域では今年 1 月に同地域初となる APAC インフラストラクチャー・ファンド(39 億ドル規模)およびアジア不動産ファンド(17 億ドル規模)のファイナル・クローズを発表しており、今回の 4 号ファンドを加えて同地域における投資プラットフォームは一段と拡充されます。

KKR アジア プライベートエクイティ共同代表の平野博文は次のように述べています。「APAC 地域にはプライベートエクイティ投資機会が豊富に存在します。各国それぞれが特徴ある市場を形作っていますが、消費行動のアップグレード、中流層の急増、都市化の広がり、破壊的に進む技術革新などを背景に様々な需要が生まれており、長期にわたる成長を可能とするファンダメンタルズが備わっているという点では共通しています。今後も KKR は引き続き APAC 地域に存在する多様な投資機会を捉えていくとともに、今回の 4 号ファンドのクロージングを受けて同地域における当社のコミットメントを一段と深めてまいります。」

同じく共同代表のアシッシュ・シャストリーは次のようにコメントしています。「APAC 地域では多くの企業がそれぞれの国や地域でのトップ企業となるだけでなく世界のリーディング企業となる可能性を認識しています。今回の 4 号ファンドは、現地国とグローバルのレベルでパートナーシップを構築していくという当社のアプローチを活用しながら、アジア太平洋地域の経済成長を牽引する各国企業の事業拡大やイノベーション推進に寄与していくことができるとみています。」

KKR は APAC 地域におけるプライベートエクイティ投資については、異なるセクターや市場間でリスクに応じ最善の投資機会を見極めるという柔軟なアプローチをとっています。今回の 4 号ファンドでは消費の拡大や都市化、コングロマリット企業の子会社切り出し(カーブアウト)、企業の事業再編になど伴う投資機会などを模索します。当社は APAC 地域において 6 ヶ国に 8 拠点を構え、約 70 名のプライベートエクイティ投資チームを揃えています。各国における資本市場のプロフェッショナルに加えて、事業の最適化を担う KKR キャップストーンおよび資本市場業務を行う KKR キャピタル・マーケッツの専門家らがタグを組んで投資案件を手掛けます。そして、APAC 地域に根差した洞察力とグローバルネットワークから得られる各種リソースを駆使し、投資先企業の成長、M&A、世界展開などを伴走します。

アジア 4 号ファンドは現時点では APAC 地域向けに組成されたプライベートエクイティ投資ファンドとしては最大規模となります。APAC 地域拠点の投資家を含む、既存および新規の投資家の皆様に強い関心を持っていただき、当初の目標規模を上回る水準のコミットメントが集まりました。

KKR プライベート・マーケッツ・ストラテジーグループ統括アリサ・アマロサ・ウッドは次のように述べています。「これまで以上に競争が激化している環境にあって、今回のアジア 4 号ファンドにこれだけの資金が集まった

ということは、KKR の戦略や投資に対する規律を評価いただいたことの表れとみています。既存および新規の投資家の皆様が KKR に信頼を寄せていただいたことを大変光栄に思います。当社のアジア太平洋地域のチームは引き続き優れた成果を生み出してくれると信じています。」

KKR がアジアに拠点を設けたのが 2005 年、今日では 300 億ドル超以上の資産を運用しています。運用資産にはプライベートエクイティ、インフラ、不動産、クレジットなどが含まれます。KKR の APAC プライベートエクイティの投資先には現在 APAC11ヶ国の 60 社の企業が含まれています。

###

KKR について

KKR は 世界有数の資産運用会社であり、オルタナティブ資産、キャピタル・マーケット、そして保険ソリューションを提供しています。長期的かつ規律ある投資アプローチで、世界トップクラスの人材を投じてポートフォリオ企業やコミュニティの成長と価値創出を主導、ファンド投資家に対して魅力的な投資リターンを創出することを目指しています。KKR はプライベートエクイティ、クレジット、実物資産に投資する投資ファンドのスポンサーとなり、ヘッジファンドを管理する戦略的パートナーを有しています。KKR の保険子会社はグローバル・アトランティック・ファイナンシャル・グループ(The Global Atlantic Financial Group)管理下で退職金、生命保険、再保険商品を提供しています。KKR の投資に関する記述には KKR がスポンサーとなっているファンドおよび保険子会社による活動が含まれる場合があります。KKR (NY 証取: KKR)については www.kkr.com および [Twitter@KKR_Co](https://twitter.com/KKR_Co) をご参照ください。

お問い合わせ

フィンズベリー・グラバー・ヘリング

服部 minako.hattori@fgh.com 070-7484-7703、ペリー hannah.perry@fgh.com 070-3769-9633